

モデル事例の作成例

6. 家計再生プラン(家計支援計画)

担当者氏名： 藤浦 久美

ID		作成日	令和1年6月13日	作成回	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 ()回目	<input type="checkbox"/> 再プラン
ふりがな	たなか ようこ		性別	<input type="checkbox"/> 男性 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 女性	<input type="checkbox"/>
氏名	田中 陽子		生年月日	<input type="checkbox"/> 大正 1978年	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 ●月 ●日	<input type="checkbox"/> 平成 (41 歳)

○解決したい課題 (主に、家計改善支援事業により、解決を図りたい課題)

- ① 令和元年9月で夫の休業補償給付金16万円の収入が無くなる為、今後の生活が不安である。
- ② 夫に内緒の借金150万円を月5万円返済しているが支払い継続できるか不安である。
- ③ 貯蓄が30万円のみのため年間イベント費用対応で余力が無い。
- ④ 令和2年1月より必要となる長女の高校進学費用の準備が不安である。

○目標(目指す姿) (本人が設定) ※家計収支における目標として家計計画表、キャッシュフロー計画表を添付

- ・親子4人で安心して生活できるようになりたい。
- ・義母の援助を元の金額に戻しても、年間イベントの費用に対応でき、貯蓄もできるような家計にしたい。

○プラン (家計改善支援機関や関係機関等が行うことや、本人が行うことも含めて記入)

実施すること (本人・家族等・家計改善支援機関・その他機関)	備考(関係機関・期間・頻度など)
家計状況を把握する(収入33万円、支出33,389万円、収支0,389万円の赤字)	本人・家計改善支援事業所
借金と債務整理について夫と相談する。 →法律家に相談して債務整理をすることになる。	本人・夫
債務整理について弁護士のアドバイスを受ける	本人・〇〇法律事務所・家計改善支援事業所
家計の見直し(基本生活費の減額、通信費の見直し、教養娯楽費減額)	本人・家計改善支援事業所
家計計画表通りの家計管理ができるように、継続して家計改善支援を受ける	本人・家計改善支援事業所

○プラン期間と次回モニタリング(予定)時期等

プラン期間	次回モニタリング時期	次回面談予定日
令和1年9月まで	令和1年8月	令和1年 月 ○日

本人確認欄	田中 陽子
-------	-------